

韓国の竹島不法占拠と新聞報道 (別表)



藤井 賢二
(日本安全保障戦略研究所研究員)

はじめに

- 1 1951年9月—平和条約調印と竹島の帰属
- 2 1952年1月—李承晩ライン宣言と日本の反応
- 3 1953年夏—竹島調査と日韓の対応
- 4 1953年秋—日韓の対立激化と竹島問題の論議
- 5 1954年夏～秋—韓国の不法占拠と日本政府
- 6 1955年—日本の配慮と韓国の拒絶
- 7 竹島問題の漁業問題への埋没

おわりに

補論：現在—漁業問題の竹島問題への埋没 (以上、前号)

別表「竹島問題に関する記事一覧」 (以下、本号)

別表「竹島問題に関する記事一覧」

紙幅の都合で前号では掲載できなかった、1951～1955年の竹島関連記事の一覧を別表として掲載する。日付の右欄は面番号である。内閣官房領土・主権対策企画調整室の「竹島資料ポータルサイト」¹に掲載されている記事には (P) を付した。①～④は拙稿本文に対応している

『夕刊山陰』(夕刊島根新聞社～山陰新報社) 島根県立図書館および国立国会図書館所蔵

[1951年]		
9月6日	2	竹島と磯竹島 田村清三郎 ①
12月15日	2	山陰十大ニュース 竹島の領土権確立 (写真)
[1952年]		
1月30日	1	李宣言を認めぬ 国際協力の原則に反す 口上書を傳達

¹ <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/shiryo/takeshima/index.html>。2023年8月26日最終閲覧。

2月15日	2	あすから日韓公式会談開始 まず外交関係確立 基本条約と漁業協定など
2月15日	2	竹島はマ・ライン外 韓国政府、日本に回答
6月20日	1	アシカが獲れた 竹島からの迷い子か? (写真)
8月25日	1	竹島の補償難しい 爆撃演習で鹽見長官答う
[1953年]		
1月3日	1	激浪と闘う“海の男” 海難救助・密航取締りの内幕 ながら乗組員の座談会
2月28日	1	竹島 韓国の主権承認 国防省きのう発表
3月4日	1	ヴェールを脱いだ“北鮮航路”【上】密輸ルート境一元山 機船入手にヤミ師暗躍 (地図) (写真)
6月18日	1	隠岐漁協連に許可 宝庫「竹島」の漁業権
7月9日	1	韓議会 竹島問題抗議
8月8日	1	竹島は韓国領 韓国外相言明
9月1日	1	竹島に異常なし 領土標柱もそのまま 海上保安本部発表
10月22日	1	竹島に韓国側の標柱 島根丸アシカ狩りから帰る
10月22日	1	武力行使辞せず 辻発言に韓国側の態度
11月11日	1	竹島標柱騒動
[1954年]		
1月18日	1	竹島 糸繰るように史実 はっきり日本領 米子市文化協議会座談会を開催 (写真)
6月18日	1	竹島に韓国駐留部隊
7月14日	2	叫ぶ声は“李ライン撤廃” 中田・団氏ら漁民と語る (写真)
8月13日	1	日本側の反応注目 韓国、竹島に灯台設置
8月17日	1	竹島出漁などを討議 第五回島根県水産大会開く
9月6日	1	日韓問題またクローズアップ“おき”銃撃事件が契機 米国も深い関心寄す
10月4日	1	出雲部隊の演習視察 木村長官けさ島根入り 竹島はそのうち解決 印象的な石見部の赤瓦 (写真)
10月7日	1	正式に許可せん 韓国、竹島提訴の申入れ
10月13日	1	竹島問題など上程 全国都道府県議会議長会議開く
10月29日	1	責任は韓国が負うべき 竹島紛争 外務省から発表
11月27日	1	竹島切手 拒否を通告
12月2日	1	竹島警備隊増強せず 韓国警察 発砲指令を否定
[1955年]		

3月24日	1	野党一齋に政府攻撃へ くい違う三元外交 竹島問題を明らかに 福田氏
7月10日	1	竹島のその後 憤りを込めた漁民の注視 侵される“海の寶庫” 韓国砲台を取付け警備 (写真) ④

記事数にはカウントしたがこの表では省略した、文中に「竹島」を含む寸評欄は次の通り。「有心無心」(1952年2月17日)。「暖流寒流」(1953年10月8・19・23・27・30日(前号〔表4〕掲載分除く)、1954年5月4日、同年6月2・18日、同年7月26日、同年8月24・28・31日、同年9月2・25日、同年10月30日、同年11月23日、同年12月2日、1955年10月26日、同年11月19日)。

『日本海新聞』(日本海新聞社) 鳥取県立図書館所蔵)

1953年3月1日	2	竹島は韓国の主権
1953年3月1日	2	竹島は日本領 岡崎外相談
1953年6月28日	7	竹島の調査を強行 隠岐高教官ぬけがけで
1953年6月29日	3	時の焦点あびる竹島 立退かぬ韓人 海上保安部から調査団 (写真) (P)
1953年7月1日	3	“四十四年前の竹島” 思い出語る老画伯 凄いアシカの群 キバむいてメスの奪合い (写真) ⑧
1953年7月3日	2	竹島に波は荒く 奇怪な海猫の鳴聲 全島火成岩の断崖 (写真)
1953年7月8日	3	竹島の韓人抑留せず 國警島根ロイター電否定 ⑪
1953年7月14日	1	へくら発砲受く! 竹島で韓国船から 外務省から嚴重抗議 (P)
1953年7月14日	1	竹島の領有権立證 貴重な資料発見さる
1953年7月15日	3	へくら射撃事件 後方から突然發砲 海上保安本部發表 カービン銃で数十發
1953年7月15日	3	“マ・ラインも認定” 竹島の日本領 外務省發表
1953年9月9日	1	李ライン問題 警備隊出動も考慮 國際裁判所に提訴か
1953年9月10日	2	警備隊出動と竹島問題 憲法違反ではない 最惡の場合の發砲・保安廳解釋 ⑭
1953年10月19日	3	韓国旗ひるがえる“ながら” 竹島から帰港 (P)
1953年10月23日	1	韓国人上陸に気配なし 竹島調査隊歸る
1953年10月23日	1	武力でも對抗 韓國海軍竹島問題で言明
1953年11月19日	2	巧妙な密入國 境で「海上保安座談會」(写真) ⑮
1953年12月12日	3	竹島問題に有力資料 鳥取圖書館に保存 外務省から借用申入れ (写真)

1954年1月1日	1	李ラインへ荒波高く(写真)(P)
1954年1月7日	2	強化される“海の守り”砲、機銃などの火器装備
1954年1月12日	3	日本海のまもり きょうもゆく“ながら”(写真)(P)
1954年2月18日	1	社説 好轉せぬ李ライン問題
1954年5月7日	1	竹島に出漁を敢行 韓国人最近上陸の形跡なし ^{③⑥} (P)
1954年5月31日	3	本社記者竹島に上陸 韓人なお五一名 女もまじりワカメとり ^{③⑨} (P)
1954年6月3日	2	日本海の焦点・竹島上陸記 抜去られた標柱 先人の跡もいまはユメ(写真) ^{④⑩} (P)
1954年7月30日	1	竹島に韓国警備員 保安庁に巡視船から報告
1954年11月19日	2	日韓関係の改善望む 李大統領・共同通信に回答 率直な討議期待 竹島要求はこっけい(写真)
1954年11月23日	3	巡視船 竹島から砲撃受く(P)
1954年12月7日	1	竹島出動は避けたい 参院本会議 国連へ・提訴考慮
1954年12月8日	3	隠岐北方海域を接收 米軍が申入れ 爆弾処理場に使用
1955年3月6日	1	巡視船明年度に武装 山口保安廳長官境で語る ^{⑤④}
1955年8月22日	1	社説 李政権の対日強硬措置 ^{⑤⑥}

『朝日新聞』(朝日新聞東京本社)

[1951年]		
9月1日	1	竹島は日本領 外務省の見解 ^②
11月24日	3	日本に還る無人の竹島 空白十年の島の全容を探る 怪奇な“アシカ”の群 岩上に韓国民の遭難碑(地図)(写真) ^④
11月24日	3	竹島由来記
[1952年]		
1月25日	2	“李承晩ライン”を宣言 韓国側、領海の拡張を主張 宣言は違法行為 政府の見解(地図) ^⑩
1月29日	2	“李ライン”に反論 外務省 韓国代表に口上書
2月14日	2	韓国、正当性を強調 李・ライン問題で回答
11月16日	3	ラチのあかぬ「防衛水域」危うし 74億円の漁場 釜山ではチョウチン行列(地図)(写真) ^⑮
[1953年]		
3月6日	2	「竹島は明かに日本領」外相言明 平和条約、当然の解釈
3月21日	1	竹島を除外 海上演習場(P)
6月25日	タ1	政府、韓国へ抗議 竹島で韓国漁民が漁獲(P)
6月28日	タ3	日本領の立札 韓国上陸の竹島に ^⑳

7月3日	1	韓国 竹島に艦艇派遣
7月13日	タ1	韓国側から発砲 竹島で 保安庁巡視船撃つ(地図)(P)
7月14日	1	政府、韓国に抗議 竹島での発砲事件(写真)(P)
7月24日	2	竹島監視緩めず 韓国海軍総参謀長言明
8月5日	2	竹島問題 韓国から逆抗議
8月6日	1	韓国軍艦には対抗できない 竹島事件 保安庁答弁
8月8日	タ1	韓国へ再抗議 竹島問題(P)
8月23日	1	韓国 竹島に海軍を派遣
8月28日	1	「朝鮮防衛水域」を停止 クラーク司令官声明(地図)(写真)
9月7日	タ1	韓国軍艦、邦船捕う 李ライン追出通告 八日午前零時を期して(地図)
9月8日	1	韓国軍艦、邦船二隻捕う 三隻は追出しを受く 海上保安庁発表(地図)
9月8日	タ1	竹島問題 国際裁判所へ提訴 下田条約局長、自由党に説明(P)
9月9日	1	李ライン問題と各党 自衛軍の備えを 松村幹事長談
9月11日	1	壱岐・対馬も危し 重光総裁 自衛軍の必要強調
9月14日	3	「李ラインはどうなる」日韓折衝の成否 カギ握る李大統領 漁業の立遅れ回復策す(地図)(写真)
9月18日	1	竹島侵入“侵略”に非ず 下田局長答弁 安保条約発動されず ^㉒
9月18日	1	竹島領有の根拠 韓国政府から通告
9月18日	2	内政建直しの乗り出した李大統領 戦時体制で平和政策 日本に猛烈な対抗意識
9月20日	7	竹島 韓国人の姿なし 島根県水産試験場報告 わが標柱そのまま(P)
10月7日	7	“竹島日本領”の有力証拠発見 編入当時の記念写真 韓国は異議申立てなかった(地図)(P)
10月7日	7	三度目の標柱建つ(P)
10月17日	3	“海の38度線”を行く 李ライン奥深く巡視船「いき」で(地図)(写真)
10月18日	1	外務省 竹島へ調査団
10月18日	タ3	領土標柱また消える 竹島 辻代議士らが調査
10月23日	7	竹島に韓国側の標石 島根県水産試験場確認 測量ポールなど散在(写真)(P)
10月25日	7	竹島に日本領の標柱 これで四度目(P)
11月4日	1	暴挙へ早急対策を 衆院 李ライン反対決議
11月13日	タ1	日米協議の段階 竹島問題 岡崎外相から報告(写真) ^㉔